

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	GIFTEDキッズ			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 17日	～	2026年 3月 15日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数)	38
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日	～	2026年 3月 15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【個別理解に基づく適切な支援の提供】 アセスメントや児童発達支援計画に基づき、児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を実施しており、保護者様からも支援の質について一定の評価を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> 標準化された評価ツールと独自アセスメントを用い、児童一人ひとりの特性を把握している。 アセスメントに基づき支援計画を作成し、職員間で共有して支援の方向性を統一している。 朝礼・終礼で支援内容や児童の様子を振り返り、改善につなげている。 支援記録とモニタリングを通じて計画を見直し、継続的な質の向上を図っている。 個別活動と小集団活動を組み合わせ、柔軟な支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援記録を活用し、児童の変化や課題を職員間で具体的に共有する。 支援計画の目標を明確化し、関わり方の統一を図る。 フィードバック時に、支援の意図や具体的な関わり方を保護者へ伝える。 朝礼・終礼での振り返りを通じて、支援方法の改善につなげる。
2	【安心して通所できる支援体制】 職員の共感的な関わりにより、児童および保護者様が安心して通所できる環境が整備されている。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の特性に応じた職員配置を行い、安全に配慮した支援体制を整備している。 研修を通じて支援技術や障害特性への理解を深め、人材育成を行っている。 面談や日常的なやり取りを通じて、保護者の不安やニーズの把握に努めている。 各種マニュアルの整備と訓練の実施により、安全管理体制を強化している。 ヒヤリハット事例を共有・分析し、再発防止に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容の共有や振り返りを行い、職員間で支援方法の統一を図る。 ヒヤリハット事例の共有を継続し、日常的な安全意識の向上につなげる。 保護者様との情報共有の機会を増やし、不安や要望の早期把握に努める。 各種マニュアルの定期的な見直しを行い、実態に即した運用を強化する。
3	【情報共有・説明体制の充実】 活動報告やフィードバック、連絡ツール等を活用し、支援内容や児童の様子について継続的かつ丁寧な情報提供を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> フィードバックや支援記録の共有により、児童の様子や支援内容を継続的に伝えている。 定期面談や随時面談を通じて、発達状況や課題の共通理解を図っている。 LINE等のICTツールを活用し、円滑な情報共有体制を整備している。 SNSやホームページにより、活動内容や取組を発信している。 各種資料を閲覧できる環境を整備し、情報公開を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> フィードバックの具体性を高める。 家庭向けの助言発信を強化する。 活動の見える化を進める。 面談等の活用しやすい周知を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の見える化の充実	支援の実施状況や活動内容について、一部の保護者様にとって分かりにくい点が見受けられるため、見学機会の工夫や情報提供方法の充実を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> レッスン中の活動内容や支援方法について、写真や具体例をSNS等での発信を充実させる。 フィードバック内容の充実を図り、支援の意図や関わり方について具体的に説明する機会を増やす。 希望に応じて見学や参観の機会を設けるなど、実際の支援場面を確認できる環境づくりを検討する。
2	個別支援および家庭支援のさらなる強化	集団活動における個別対応や、家庭での関わり方に関する助言について、より一層の充実が求められる。	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動の中においても個別目標を意識した関わりを強化し、支援内容の個別最適化を図る。 面談機会の活用促進や相談しやすい環境づくりにより、保護者支援の充実を図る。

3	地域連携および安全対策に関する周知の強化	地域との交流機会や安全対策の取組については実施しているものの、保護者への周知が十分でない面があるため、情報発信の強化が必要である。	・避難訓練や安全対策の実施状況について、SNSや配布物等を通じて保護者へ積極的に情報発信を行う。 ・各種マニュアルや安全計画について、保護者が理解しやすい形で周知方法の工夫を行う。
---	----------------------	---	---